

# おめでとうございます

## 川柳の祭典で入選

平成24年11月18日に徳島県で行われた、第27回国民文化祭・とくしま2012「川柳の祭典」で入選しました。

文部科学大臣賞

吉田智哉くん(玖波小5)

「友達はおくの心のシャワーだな」

徳島県教育委員会教育長賞

金山涼風さん(玖波小6)

「きょうりゅうはすがたをかえて生きている」



## 健康な歯で表彰

平成24年11月8日に、県医師会館で行われた表彰式で表彰されました。

はつらつ家族表彰

濱崎裕実さん(母)

濱崎未音ちゃん(写真左)

8020表彰 谷川悦子さん



## 全国中学生人権作文コンテスト 廿日市地区大会で入賞



今田 真代さん(小方中3)



木村 智子さん(大竹中2)



山崎美実香さん(小方中2)



濱田 早紀さん(大竹中2)

## 空手道選手権大会で優勝

平成24年10月28日に長野県で行われた、2012全日本ジュニアRF武道空手道選手権大会で優勝しました。

エキスパートクラス  
中学男子軽量級の部優勝



橋原銀芽くん(小方中2)

レギュラークラス  
小学4年重量級の部優勝



入門朔也くん(玖波小4)

レギュラークラス  
小学2年の部優勝



島津陽希くん(阿多田小2)



## 第五次大竹市総合計画 重点取組方向 No.4

問い合わせ 企画財政課 ☎2125

前期基本計画(計画年次・平成23年度～平成27年度)は、「わがまちプラン」に沿ってよいまちを実現するために、どのような取り組みをしていくのが、より具体的に書かれた計画です。この計画には、大竹市が、どのようなことに特に力を入れて取り組むのかを示した、重点取組方向が4点決められ

ています。最後の4点目は、市行政全般にかかる理念とは別に定めた、施策において特に力を入れていくと定めた重点取組方向と施策の方向性です。施策の重点取組方向は8点ありますので今月から3回に分けて紹介していきます。

### ④施策の重点取組方向



#### 産業基盤の整備

地域産業を充実・拡大することが、働く場所の多いまちづくりにつながります。

働く場所から自宅の距離は、定住への動機の第一歩にもなり得ますので、チャンスを広げるための産業基盤の充実に向けた整備や支援施策を進めます。



#### 公共交通基盤の整備促進

利便性と必要性を考え、多くの市民にとって最大公約数的な公共交通ネットワークの構築を、市民と事業所そして行政が一緒になって研究しながら進めます。

市民が主体となり、「創り・守り・育てる」という意識で確立を進めている、幹線バスや支線交通システムは、市民参画・市民協働のモデル事業でもあります。

## 「大竹市民の幸せ感に関するアンケート」結果発表 No.3

11月号で、一般アンケート結果の概要をお知らせしました。今回は、寄せられた自由記述の中から、「大竹市について普段から心配に思っていること」および「市民自治の考え」などについて、ご意見の多かったものを紹介します。

**心配に思っていること**

①項目「生活基盤が整ったまち」について

- 道路の傷みや歩道がないことによる歩行の危険性や公園整備が十分でないこと。
- 工業、商業などの地域産業の衰退に起因する、まちの活力低下、雇用情勢悪化や人口減など。
- ②項目「安全なまち」について
- 街灯が少なく暗いことや、交通マナーの悪さ。
- 土砂崩れ、水害等の災害や工場での事故。
- ③項目「安心できるまち」について
- 近所付き合いがあまりないことや周りに高齢者の独り暮らしが増えていることなどで、地域住民のつながりが徐々に薄れていくこと。
- 健康づくりの機会や場所の不足。

④項目「心にゆとりを感じるまち」

○地元の歴史や伝統文化などについて、知る機会や学習の機会が少ないことや、若者の無関心や市外流出による後継者不足など。
- ごみの不法投棄、ポイ捨て、雑草繁茂により景観が損なわれていることや、家庭ごみの出し方や犬の糞の処理などのマナーの悪さ。

**「市民自治」の考え**

⑤項目「大竹を愛する人づくり」について、自分の暮らす地域が好きになれない理由

- 工場からの臭い。
- 周りの人との付き合いが難しい。

自治会や消防団、地域行事、子育て支援、高齢者支援、清掃などの活動で地域に貢献したいと思っっている方が約半数いました。

一方で、地域のために何かしたくてもできない理由として、仕事や子育てなどで忙しく時間がなくという意見が一番多かったほか、自分や家族の健康上の問題や、自分が何かしようとする場合のきっかけや方法がわからないという意見もありました。その他の分析についても、また、改めてご紹介します。

問い合わせ 企画財政課 ☎2125